こんな時には・・・ / 下記に従って、各部を点検してください。

→サイドブレーキ作動時には消灯します

【1】取付け後、点灯しない時

→つなぎ忘れや接続が不確実な所がないか配線を確認してください。

●スイッチのイルミネーションが点灯し、操作してもリレー本体の作動音（カチィ）がしない場合
→スイッチ本体が故障の場合、同様の症状が現れます。
この場合スイッチユニットの交換が必要です。

●スイッチのイルミネーションが点灯し、操作してもリレー本体の作動音（カチィ）がする場合
→バルブを点検してください。切れている場合は交換してください。

【2】突然点灯しなくなったら・・・

→各配線を確認してください。
→灯体のLEDを点検してください。切れている場合は交換してください。
→リレーハーネスのヒューズを点検してください。切れている場合は、【3】ヒューズが切れた時、に従って原因を取り除いてください。
→車両側のヒューズを確認してください。切れている場合は、原因を取り除いてください。
→各部の端子の接続が不確実になっている場合があります。
端子が浮いていないか、汚れが付着してないか等を点検してください。
→水入や、不確実な接続による不安定な電流によるリレーが破損している場合があります。
リレーを交換し、リレー取付け位置及び配線各部を点検してください。
→スイッチを点検してください。ボタン作動に異常が見られた場合は交換してください。

【3】ヒューズが切れた時

→ショートは発生している可能性があります。ランプ内部を含め配線を点検し、損傷部を交換してください。
（交換しないままの使用は大変危険です / ショート発生の原因の多くは配線の噛込み、ランプハーネスのスリーブのずれです）

【4】つきっぱなしになってしまったら

→水入や、不確実な接続により、リレーが損傷しています。
リレーを交換し、リレー取付け位置及び配線各部を点検してください。
→スイッチのボタン作動を確認してください。異常が見られない場合は、スイッチを交換してください。

G-FACTORY
〒448-0003 愛知県刈谷市一ツ木町8丁目6番地15 1F
TEL：0566-21-0558　FAX：0566-26-5080
http://gf.g-corp.co.jp/
営業時間　平日　10:00～20:00　日曜日/祝日　10:00～18:00
定休日　毎週水・木曜日（月により異なります）

GS-i INSIGHT用「フロントスポイラー」
採用LEDデイライト

リレーハーネスセット 取扱説明書

for INSIGHT（サイドブレーキ対応）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、
必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、
次の表示で区分し、説明します。

⚠ 警告	この表示の欄では、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄では、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性想定される」内容です。

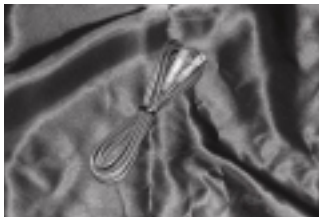
■お客様へお願い　・・・本商品を貸したり譲ったりする場合は、必ずこの取扱説明書を含めてお渡しください。
■取付店様へお願い　・・・この取扱説明書は、取付け後必ずお客様へお渡しください。

付属品　付属品が全て揃っている事を確認してください。不足の場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください

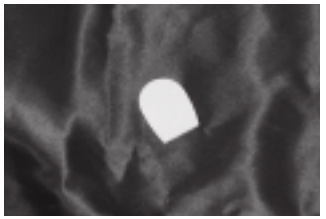
下記写真は一部異なる場合がございます

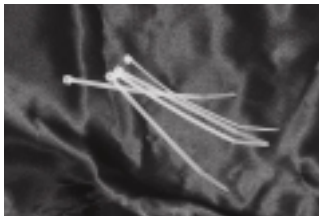
リレーハーネスセット　×1

ヒューズ　×1（エイモン No.E579）


中継コード　×1

ワンタッチコネクター　×1


両面テープ　×1


結束バンド　×5

使用上のご注意 / 必ずお読みください

⚠ 注意

●本製品は自動車専用です。自動車以外には使用できません。
●バックフォグ、バックアップランプ、フォグランプ等に、本製品は使用できません。
●不必要にリレーハーネスを分解しないでください。
●リレーハーネスを外して保管する場合は汚れを拭き取り、水気のない所に保管してください。
●コード被覆の損傷等異常が認められた場合は、交換してください。
●破損したリレーハーネスの取扱いは、ケガをしないよう充分留意し、不燃物として廃棄してください。

取付上のご注意 / 必ずお読みください

⚠ 注意

●作業は、平らな場所で充分なスペースと安全を確保して行ってください。
又、車両は、シフトノブをパーキング又はニュートラルにし、サイドブレーキをかけ、エンジンを停止させ、キー（鍵）を抜いておいてください。
●作業は、エンジンルーム内が充分冷えてから行ってください。特にエンジン本体、ラジエーター、オイルクーラー、ターボタービン部等、高温部が熱い内には作業しないでください。
●リレーハーネスのお取り扱いには充分ご注意ください。落としたり、物を当てたりして衝撃が加わるとリレーハーネス本体の損傷につながります。
●リレーハーネス本体に加工はしないでください。又、リレーハーネス各部に接着剤やシール剤等を塗布しないでください。
●リレーハーネスの改造はしないでください。過熱やショートの原因となる他、最悪は車両火災の恐れがあります。改造による不具合については一切責任を負いかねます。
●バッテリー端子の脱着の際は⊕端子と⊖端子に同時に触れないでください。
感電の恐れがあります。ゴム手袋等を着用し防護処理をしてください。
●バッテリーの⊕端子と⊖端子に金属が同時に触れないよう充分ご注意ください。ショートを起こすと大変危険です。
●ボルト類は確実に締め付け、試験走行を行い、ゆるみが出た場合は、増し締めを行ってください。
●取付け終了後、ヘッドランプ等の灯火類、ワイパー及びホーン等正常に動作するか確認してください。
●バッテリー端子を取り外すと、時計、ラジオ、オーディオなどのメモリーが消えますので、作業終了後元通り直してください。（修正方法は車両の取扱説明書等をご参照ください）

配線上のご注意 / 必ずお読みください

⚠ 警告

●配線の際は、下記注意事項を厳守してください。
誤った配線や不確実な配線は、ランプの機能を損なう他、最悪は車両火災を起こす恐れがあります。

⚠ 注意

●必ずバッテリー⊕端子及び⊖端子を外してから作業してください。
バッテリー端子は必ず⊖端子から外し、ショートさせないよう充分ご注意ください。
●バッテリー端子を脱着する場合は、必ず車のキーをOFFにして抜き、ライトスイッチ及びその他電装品のスイッチをOFFにしておいてください。
●バッテリー端子脱着の際、他の電装品コードを接続している場合は、⊕と⊖を間違わないようビニールテープ等で束ねて区別しておいてください。
●⊕電源コード（黄色）と⊖アース（黒色）は色をご確認の上、確実に接続してください。
●リレーボックス及びヒューズボックスは、直接水のかかる部分には設置しないでください。
●エンジン、ラジエーター等エンジンルーム内の高音部にリレーハーネスが触れないよう配線してください。
●リレーハーネスは可動部等に噛み込まれないように配線してください。
●ブレーキ配管及びエアコン配管等の高圧配管にはリレーハーネスを固定しないでください。
●リレーハーネスがエッジ部に当たる場合は、市販のクッションテープ等でリレーハーネスを保護してください。
●ギボシ端子を接続する場合は、カチィっと音がするまで確実に差し込み、固定してください。
●ギボシ端子を抜く場合は、ギボシ端子本体を持って抜いてください。コードを引っ張ると、接続部が損傷し、過熱等が発生して危険です。
●余ったリレーハーネスはたるまないよう、結束バンド又はビニールテープで束ねて車体配線等に固定してください。
●バッテリーを接続する前に再度配線の確認を行ってください。
●バッテリー端子及び電装品コード接続の際は、⊕と⊖を絶対に間違わないよう充分にご確認の上、必ず⊕端子から取付けてください。
●配線完了後、作動を確認して下さい。点灯しない場合は、後述の「こんな時には・・・」をお読みください。

配線図 / 下記は全て参考例となります

点灯条件

○IG or ACC「ON」
○スイッチ「ON」
○サイドブレーキ「OFF」
※上記条件のみ点灯します。
※リレーユニットは動作時に「カチィ」と動作音がします（ON・OFF時）

LEDデイライトユニットへ（エンジンルーム）

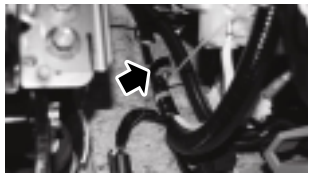
中継コード（赤色）

ヒューズ

（赤色）

運転席足下の側面のブーツ部より中継コードを通して下さい。

純正フォグランプ非装着車
参考例（配線）



運転席、足下

エンジンルーム

純正未使用の配線を利用して
エンジンルームへの配線を行えます。

ワンタッチコネクター

（白色）

サイドブレーキ作動配線
※サイドブレーキ作動時に消灯

注意）サイドブレーキ非連動の場合は配線しないでください

リレーユニット

（黒色）

アース配線

（黄色）

ギボシ端子

ヒューズボックスの「IG or ACC」へ
※純正ヒューズと付属ヒューズのアンペアが異なる場合への接続はしないでください。

注意）任意の配線に接続する場合は、先端部（ヒューズ）をカットして接続してください。

（黒色）

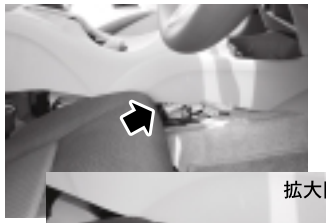
（赤色）

（白色）

カプラー

スイッチ

※LED付きスイッチにて点灯状態を確認



拡大図

両面テープ張り付け位置は脱脂した後貼付けてください。

ヒューズボックス「IG」にて接続
※ヒューズボックス「15番」使用

エイモン ITEM No.E579
低背ヒューズ電源（付属）使用時